




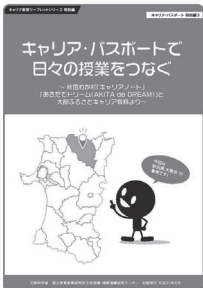


## 【 国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター 作成資料 】

資料名・発行年月	表紙	概要
<p><b>キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査 キャリア教育が促す「学習意欲」</b></p> <p>平成26年3月</p>		<p>この支援資料は、キャリア教育や進路指導に関する実態を把握するとともに、今後の各学校におけるキャリア教育・進路指導の改善・充実を図るための基礎資料を得ることを目的とした「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」の結果を踏まえ、全国の小学校、中学校、高等学校、教育委員会を対象として作成したものです。</p> <p>特にこの支援資料では、キャリア教育が児童生徒の「学習意欲」の向上を促すという点について、データや事例を用いてわかりやすく紹介、解説しました。</p>
<p><b>キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査 子供たちの「見取り」と教育活動の「点検」 ～キャリア教育を一步進める評価～</b></p> <p>平成27年3月</p>		<p>この支援資料は、キャリア教育や進路指導に関する実態を把握するとともに、今後の各学校におけるキャリア教育・進路指導の改善・充実を図るための基礎資料を得ることを目的とした「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」の結果を踏まえ、全国の小学校、中学校、高等学校、教育委員会を対象として作成したものです。</p> <p>特にこの支援資料では、キャリア教育で進めるべき評価を「見取り」と「点検」にわけ、ポイントや事例を用いてわかりやすく紹介、解説しました。</p>
<p><b>キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査 「語る」「語らせる」「語り合わせる」で変える!キャリア教育一個々のキャリア発達を踏まえた“教師”の働きかけ</b></p> <p>平成28年3月</p>		<p>この支援資料は、キャリア教育や進路指導に関する実態を把握するとともに、今後の各学校におけるキャリア教育・進路指導の改善・充実を図るための基礎資料を得ることを目的とした「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」の結果を基に作成したものです。</p> <p>この支援資料では、子供たちが自分の生き方を見つめ、主体的に考え、将来自立して生きていけるよう、個々の発達を踏まえて働きかけるにはどのようにすればよいか、「語る」「語らせる」「語り合わせる」をキーワードに、日常の生活で、子供たちに意識して働きかけることの大切さを解説しています。また、よりよい実践のために、取組方のポイントなどを事例ごとによりわかりやすく解説しました。</p>

資料名・発行年月	表紙	概要
<p>「再分析から見えるキャリア教育の可能性－将来のリスク対応や学習意欲，インターンシップ等を例として－」</p> <p>平成28年3月</p>		<p>児童生徒の社会的・職業的自立を目指す上で，変化が激しいとされる現代社会の情勢を常に視野に入れながら行う必要があるキャリア教育は，推進・充実を進めていくために検討しておくべき課題も多くあります。</p> <p>本研究では，キャリア教育を取り巻いている諸課題について，将来のリスク対応や学習意欲，インターンシップ等を例として，既存の調査データを積極的に利活用し，二次分析を行った結果を，平成28年3月，報告書に取りまとめ，紹介しています。</p>
<p>◎キャリア教育リーフレットシリーズ1 高校生の頃にしてほしかったキャリア教育って何？ ～卒業後に振り返って思うキャリア教育の意義～」</p> <p>平成29年3月</p>		<p>キャリア教育に日々取り組む中で，生徒が意義を感じているか悩むことがあると思います。そのような時は，キャリア教育の意義は，すぐに実感されるものもあれば，後になって感じられるものもある，ということを確認することが良いでしょう。このリーフレットでは，キャリア教育の取組を高校生当時に役立つと感じたか，卒業後の今になりもっと指導してほしいかという二つの点から，取組の意義を探ります。</p>
<p>◎キャリア教育リーフレットシリーズ2 生徒が直面する将来のリスクに対して学校にできることって何だろう？</p> <p>平成30年3月</p>		<p>高等学校において離職や失業といった人生上のリスクに対処する手立てを身に付ける機会を作るとは，どの学科でも，とても大切です。しかし，こうした潜在的なリスクについての学習は必ずしも広まっていません。特に普通科では卒業生の半数以下しか学んでいない状況です。</p> <p>離職等によって困難な状況に陥ってしまった場合，自分一人で抱え込んでしまうと，解決するのは容易ではありません。このようなとき，公的な相談機関はセーフティネットとして機能します。しかし，現状では，相談機関を知らなかったり，知っていても活用の方がわからなかったりする卒業生が少なくありません。</p> <p>学校教育における積極的な情報提供が求められています。</p>

資料名・発行年月	表紙	概要
<p>◎キャリア教育リーフレットシリーズ特別編 キャリア・パスポート特別編1 「キャリア・パスポートって何だろう？」</p> <p>平成30年5月</p>		<p>キャリア教育の場面においては、学習や活動の内容を記録し、振り返ることは、教師にとっても、児童生徒にとっても意義があることを「キャリア教育・進路指導に関する総合的実態調査」の分析から示しています。</p> <p>キャリア教育の成果に関する評価、例えば、「アンケートやポートフォリオ等」の実施を全体計画に盛り込んでいる学校の「児童・生徒は自己の生き方や進路を真剣に考えている」という結果が得られています。また、実際に「生徒理解のための個人資料」として「キャリア教育の記録（ポートフォリオ）や成果」を利用している学級・ホームルーム担任の先生方は、キャリア教育を通じて「生徒は自己の生き方や進路を真剣に考えている」と手応えを感じていることを説明しています。</p>
<p>◎キャリア教育リーフレットシリーズ特別編 キャリア・パスポート特別編2 「キャリア・パスポートで小・中・高をつなぐ～北海道『小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業』より～」</p> <p>平成30年5月</p>		<p>北海道「小中高一貫ふるさとキャリア教育」とその指定地域の一つである北海道羅臼町の知床・羅臼版キャリア教育及びその中で行われている「キャリアノート」の取組を紹介しています。</p> <p>北海道教育委員会は、平成27年度から3年間、道内14管内の同一市町村の小・中・高等学校を指定し、地域の未来を担う人材を育成するため、地方自治体や地域の産業界など関係機関・団体の支援を受けながら、研究指定校において、家庭生活の大切さや子供を育てることの意義についての学習や小学校、中学校、高等学校間の体系的なキャリア教育の充実を図ることを目指しました。「キャリアノート」はその共通の取組の一つとなりました。</p>
<p>◎キャリア教育リーフレットシリーズ特別編 キャリア・パスポート特別編3 「キャリア・パスポートで日々の授業をつなぐ～秋田わか杉キャリアノート『あきたでドリーム (AKITA de DREAM)』と大館ふるさとキャリア教育より～」</p> <p>平成30年5月</p>		<p>秋田県大館市の大館ふるさとキャリア教育とその中で行われている「キャリアノート」の取組を紹介しています。</p> <p>秋田県では、教育庁が平成24年度に、わか杉っ子の「キャリアノート」『あきたでドリーム (AKITA de DREAM)』を作成し、以後、全県下の小学校、中学校においてその活用を図っています。こうした全県共通の「キャリアノート」と大館市内で取り組まれている日々の振り返る力の育成を関連付け、時にファイルやポートフォリオ等も併用しながら、子供たちのキャリア発達を促している取組について解説しています。</p>